

| | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|---|---------|---|-------------|---------|-------------------|---------|----------|---------|-----------|---------|
| 1. 科目名 (単位数) | 子育て支援／保育相談支援演習 (2単位) | 3. 科目番号 | | | | | | | | | |
| 2. 授業担当教員 | 西村 彩恵 | | | | | | | | | | |
| 4. 授業形態 | 演習、グループ討議、ロールプレイング | 5. 開講学期 | 春期 | | | | | | | | |
| 6. 履修条件・他科目との関係 | 児童・家庭福祉論を履修済みであることが望ましい。 | | | | | | | | | | |
| 7. 講義概要 | 保育士の行う子育て支援の特性として、子どもの保育とともに行う保護者の支援、保護者との相互関係や信頼関係の形成、支援のニーズについての気づきと多面的理解、子どもと保護者が多様な他者とかわる機会や場を提供することなどを理解する。支援の展開として、子どもと保護者の状況・状態の把握、支援の計画と環境の構成、支援の実践・記録・評価・カンファレンス、職員間、関係機関との連携・協働を学ぶ。多様な支援ニーズを抱える子どもと家族への支援の実際(内容・方法・技術)を学ぶ。 | | | | | | | | | | |
| 8. 学習目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育士による子育て支援が求められる社会的状況について理解する。 2. 子育て支援の意義と原則について理解する。 3. 保護者支援の基本を理解する。 4. 子育て支援の実際について学び、内容や方法を理解する。 5. 保育所等の児童福祉施設における保護者支援の実際について理解する。 | | | | | | | | | | |
| 9. アサシメント(宿題)及びレポート課題 | <ol style="list-style-type: none"> 1. グループでの討議を含む授業の理解度を確認するため、授業内容を踏まえて考察した学習課題(宿題)を提出する(適宜実施予定)。授業実施状況により、小テストを実施する可能性がある。 2. 授業の学習成果(期末課題)として、グループで作成するレポート(「子育て支援活動の企画案について」と個人で作成するレポート(「私が考える子育て支援について」))を提出する。 上記に示した課題の作成を通して、子育て支援に対する理解を深め、論理的思考力や概念化能力、自己の見解を文章化する力、他者と共同で物事に取り組む力を培う機会とする。 | | | | | | | | | | |
| 10. 教科書・参考書・教材 | <p>【教科書】才村純、芝野松次郎、新川泰弘、宮野安治編著『子ども家庭福祉専門職のための子育て支援入門』ミネルヴァ書房、2019</p> <p>【参考書】柏女霊峰、橋本真紀編著『保育相談支援【第2版】』ミネルヴァ書房、2016 厚生労働省『保育所保育指針<平成29年告示>』フレーベル館</p> <p>【教材】授業内でプリントを配布する。映像教材も適宜使用する予定。配布プリントを綴じるファイルを用意したうえで、授業中に重要な点や事柄を配布プリントにメモしておき、予習・復習、課題提出の際に各自で活用すること。</p> | | | | | | | | | | |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法 | <p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保護者支援の基本を理解し、説明できるか。 2. 子育て支援の実際について、内容や方法を理解し、説明できるか。 <p>○評定の方法</p> <p>授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1 授業への積極的参加</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>2 期末試験(または期末レポート)</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>3 課題レポート</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>4 日常の学習状況</td> <td>総合点の20%</td> </tr> </table> | | | 1 授業への積極的参加 | 総合点の20% | 2 期末試験(または期末レポート) | 総合点の30% | 3 課題レポート | 総合点の30% | 4 日常の学習状況 | 総合点の20% |
| 1 授業への積極的参加 | 総合点の20% | | | | | | | | | | |
| 2 期末試験(または期末レポート) | 総合点の30% | | | | | | | | | | |
| 3 課題レポート | 総合点の30% | | | | | | | | | | |
| 4 日常の学習状況 | 総合点の20% | | | | | | | | | | |
| 12. 受講生へのメッセージ | <p>保育士は、子どもの成長を支援するだけでなく、子どもの一番身近な存在である家庭を支える役割を担うことも期待されている。子育て支援とは何かということについて、学んでいく。授業を実施するにあたり、下記の4つの項目に留意すること。また、授業の進捗状況・理解度、受講者数に応じて、授業内容等を変更する場合がある。Word、PowerPoint やインターネット等を活用して、グループディスカッション・発表、発表資料の作成を行うため、各自の受講環境を出来る限り整備したうえで、真摯に学ぶ姿勢と主体的な参加が求められる。また、グループ活動が中心となるため、グループ内で協力し合い、各自の強みを生かして地道に且つ根気強く取り組むことが重要となる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. グループ活動が中心となるため、遅刻・欠席に注意し、やむを得ず欠席する(した)場合は書面またはメールにより必ず教員に届け出ること。遅延の場合は、遅延証明書を当日又は次回授業までに担当教員に提出する。遅延の累積回数が多い場合は、遅延を認めないことがある。なお、本学の規定を十分に確認のうえ、出席状況の自己管理を徹底すること。 2. レポートの提出期限を遵守すること。期限後提出は、減点対象となる。また、期限後提出が継続する場合や大幅に時間が経過した後に課題を提出した場合は、課題を受理しないことがある。 3. 真摯に学ぶ姿勢や主体的な参加は前向きに受け止め、授業への貢献度として加味する。但し、私語や居眠り、学習テーマ以外の作業、(グループメンバー及び授業担当教員からの働きかけに対して応答しないなどの)グループ活動等の授業に関わる事柄での非協力的な姿勢、その他授業を妨げる行為は慎むこと。これら一連の受講態度は、減点対象となる。 4. 特に子育て支援活動の企画案に関するレポートは、グループで取り組むため、グループ全員の協力姿勢や主体的な学習姿勢が求められる。なお、グループは、レポート提出まで原則同じメンバーで取り組む。 | | | | | | | | | | |
| 13. オフィスアワー | <p>オフィスアワーは授業内でお知らせしますが、事前にメールでアポイントメントを取って下さい。</p> <p>メールアドレス: sanishim@ed.tokyo-fukushi.ac.jp</p> | | | | | | | | | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | | | | | | | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | 学習課題 | | | | | | | | | |
| 第1回 | オリエンテーション 子育て支援とは | 事前学習 | 配布資料を綴じるファイルを用意する。教科書第1章、2章を事前に読み、子育て支援・保護者支援について考え、自分のイメージを整理する。 | | | | | | | | |
| | | 事後学習 | 授業内容をふり返り、子育て支援・保護者支 | | | | | | | | |

| | | | |
|------|--------------------------------------|------|---|
| | | | 援について要約し、自分の考えをまとめる。 |
| 第2回 | 子ども家庭福祉の理念と子どもの権利 | 事前学習 | 教科書第3章や児童の権利に関する条約の条文を読み、子ども家庭福祉の理念や子どもの人権について考えておく。 |
| | | 事後学習 | 授業内容をふり返し、子ども家庭福祉の理念と子どもの権利との関わりについて自分の考えをまとめる。 |
| 第3回 | 保育相談支援の体系 | 事前学習 | 教科書8章～9章、第11章、第14章を事前に読み、保育相談支援の体系について各自情報収集し、内容を整理する。 |
| | | 事後学習 | 授業内容をふり返し、相談援助の基本について自分の考えをまとめる。 |
| 第4回 | 子育て支援の方法と技術 | 事前学習 | 教科書第10章、第12章～第13章を事前に読み、子育て支援の方法と技術について内容を整理する。 |
| | | 事後学習 | 授業内容をふり返し、子育て支援の方法と技術について自分の考えをまとめる。 |
| 第5回 | 子育て支援の実施体制 | 事前学習 | 教科書第4章～7章を事前に読み、子育て支援の実施体制について内容を整理する。 |
| | | 事後学習 | 授業内容をふり返し、子育て支援の実施体制について自分の考えをまとめる。 |
| 第6回 | 子ども家庭福祉専門職が行う子育て支援 | 事前学習 | 教科書第16章～第18章を事前に読み、子ども家庭福祉専門職が行う子育て支援について整理する。 |
| | | 事後学習 | 授業内容をふり返し、子ども家庭福祉専門職が行う子育て支援について自分の考えをまとめる。 |
| 第7回 | 子育て支援の実際① 保育所等における支援 | 事前学習 | 教科書第7章、第16章～第19章を事前に読み、保育所等における支援について整理する。 |
| | | 事後学習 | 授業内容をふり返し、保育所等における支援について自分の考えをまとめる。 |
| 第8回 | 子育て支援と実際② 特別な配慮を要する子どもとその家庭に対する支援 | 事前学習 | 特別な配慮を要する子どもとその家庭に対する支援について各自情報収集し、内容を整理する。 |
| | | 事後学習 | 授業内容をふり返し、特別な配慮を要する子ども(障害のある子どもを含む)とその家庭に対する支援について自分の考えをまとめる。 |
| 第9回 | 子育て支援と実際③ 要保護児童等の家庭に対する支援 | 事前学習 | 教科書第20章を事前に読み、要保護児童等の家庭に対する支援について整理する。 |
| | | 事後学習 | 授業内容をふり返し、要保護児童等の家庭に対する支援について自分の考えをまとめる。 |
| 第10回 | 地域における子育て支援 | 事前学習 | 教科書第15章を事前に読み、地域における子育て支援について整理する。インターネット等を活用し、自治体や子育て支援団体等の活動(チラシ等)について情報を収集する。これまでの授業内容を踏まえて、子育て支援活動の案を具体的に考える。 |
| | | 事後学習 | 授業内容をふり返し、地域における子育て支援について自分の考えをまとめる。それをもとに、子育て支援活動の案を練り上げる。 |
| 第11回 | 他者と関わる機会や場の提供①: 学習成果の発表 | 事前学習 | 実際に発表資料を作成し、口頭発表できるよう練習する。グループでの発表と質疑応答に備えて、グループで資料を準備し、発表に向けた手順や役割について確認する。 |
| | | 事後学習 | 各グループの発表に関するコメントや質疑応答の内容をノートに記し、グループ発表の準備とレポート作成に活かす。 |
| 第12回 | 他者と関わる機会や場の提供②: 学習成果の発表 | 事前学習 | 実際に発表資料を作成し、口頭発表できるよう練習する。グループでの発表と質疑応答に備えて、グループで資料を準備し、発表に向けた手順や役割について確認する。 |
| | | 事後学習 | 各グループの発表に関するコメントや質疑応答の内容をノートに記し、グループ発表の準備とレポート作成に活かす。 |
| 第13回 | 他者と関わる機会や場の提供③: 学習成果の発表とまとめ | 事前学習 | 実際に発表資料を作成し、口頭発表できるよう練習する。グループでの発表と質疑応答に備えて、グループで資料を準備し、発表に向けた手順や役割について確認する。 |

| | | | |
|------|-------------|------|---|
| | | 事後学習 | 授業内容や発表内容をふり返り、他者と関わる機会や場の提供について自分の考えをまとめる。また、各グループでの発表に関するコメントや質疑応答の内容を踏まえて、レポートを作成する。 |
| 第14回 | 子育て支援の展望と課題 | 事前学習 | 教科書第21章を事前に読み、子ども家庭福祉専門職に求められる子育て支援について、内容を整理する。 |
| | | 事後学習 | 授業内容をふり返り、子育て支援の展望と課題について自分の考えをまとめる。 |
| 第15回 | 全体の総括 | 事前学習 | 第1回～第14回までの内容をふり返り、レポートの作成に備える。 |
| | | 事後学習 | 第15回を含めた講義内容をふり返り、子育て支援についての自分の考えをまとめる。 |